

2015. 11/15 (日)

数学協働プログラム、
Coop with Math
再びサイエンスアゴラへ。



10:15 ~ 12:15

産業技術総合研究所
臨海副都心センター別館
11階会議室1

新交通ゆりかもめ

「テレコムセンター駅」下車、徒歩約3分
東京臨海高速鉄道りんかい線

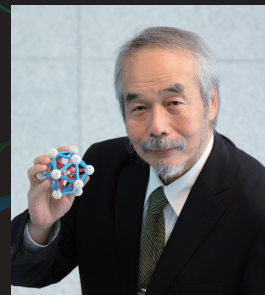
「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

<http://coop-math.ism.ac.jp/info/Agora>

科学における発見、 数学における発見 2015

開会挨拶：10:15 - 10:20 総合司会：砂田 利一 (すなだ としかず)

明治大学総合数理学部長、理学博士。東京大学大学院修士課程修了。名古屋大学、東京大学、東北大学教授を経て、2003年4月より明治大学理工学部教授。2013年4月より現職。専門は離散幾何解析学および大域解析学。1998年日本数学会弥永賞、2013年日本数学会出版賞受賞。『チャート式 数学』(数研出版)、『現代幾何学への道』(岩波書店)、『ダイヤモンドはなぜ美しい』(シュプリンガー)、『パナッハ・タルスキーのパラドックス』(岩波書店)など著書多数。



2億年前に衝突した隕石は超巨大だった？

- 地層記録と計算手法からわかる隕石衝突の実体 -

10:20 - 11:00 語り手：佐藤 峰南 (さとう ほなみ)

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター 日本学術振興会特別研究員。博士(理学)。2015年3月九州大学大学院理学府 地球惑星科学専攻博士課程修了。2015年4月より現職。三畳紀における巨大隕石衝突と環境変動の解明に関する研究に従事している。主な業績に Sato, H., et. al., "Osmium isotope evidence for a large Late Triassic impact event.", Nature Communications, 4, 2455, 2013. がある。平成24年9月日本地質学会 小藤賞、平成26年度 第5回 日本学術振興会育志賞を受賞。



数学と計算で探るタンパク質の出会いとネットワーク

11:05 - 11:45 語り手：大上 雅史 (おおうえ まさひと)

東京工業大学 大学院情報理工学研究科 計算工学専攻 助教。博士(工学)。2014年3月 東京工業大学大学院情報理工学研究科 計算工学専攻博士課程修了。2014年4月から2015年3月まで日本学術振興会特別研究員、2015年4月より現職。計算機で生命科学の問題を解くバイオインフォマティクスの研究に従事し、特にタンパク質立体構造や創薬支援計算に興味を持つ。平成25年度 第4回 日本学術振興会育志賞、平成26年度 手島精一記念研究賞を受賞。



2 講演の聞き手：中川 真 (なかがわ しん)

東京外国語大学外国語学部イタリア語学科卒。東京外国語大学大学院外国語学研究科ロマンス系言語専攻。海外TV番組台本・映画字幕翻訳を経て、ライトノベル作家(別名義)、漫画原作者。作品『江戸釣り百景 ぶらり百竿』『和算に恋した少女』(小学館ビッグコミックス)。筋金入りの数学嫌いだったが、和算を題材に物語を書くうちに、実は「数がとても不思議だった」し、「算数はとても楽しかった」ことを思い出す。以来、数学にほんのり片思い。



11:45 - 12:15 **パネルディスカッション** 数理を中心に据えた科学の異文化交流

主催：独立行政法人科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター

<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora>

企画主催：文部科学省、文部科学省委託事業「数学協働プログラム」(<http://coop-math.ism.ac.jp/info/Agora>)